

社団法人 石油学会

平成17年度 事業計画案

1. 庶務事項

平成17年度も前年に引き続き会員拡大年間として入会金を免除し、会員の増強活動を積極的に推進する。

2. 講演会、討論会、研究発表会ならびに見学会等の事業計画

月	日	曜	名 称	開 催 地
平成17年				
5	16	月	第46回通常総会、第48回年会 - 受賞講演、特別講演、懇親会	東京
	17	火	受賞講演、第54回研究発表会、JPLJSポスターセッション	アルカディア市ヶ谷
5	27	金	新エネルギー部会講演会	東京 青少年総合センター
6	3	金	第25回絶縁油分科会研究発表会	京都 京都市勤業館
7	12	火	石油化学講演会「これからの石油・石油化学産業をユーザー企業とともに考える」	東京 早稲田大学
7	15	金	資源部会講演会	東京 夕ヶ丘船堀
9	22	木	第5回 回転機研究討論会	東京 青少年総合センター
10	14	金	精製講演会	東京 青少年総合センター
10	27	木	盛岡大会	盛岡 マリオス
	28	金	- 特別講演、第35回石油・石油化学討論会、懇親会 -	
	29	土	見学会	
11	15	火	経営情報部会講演会	東京 阿ヶ丘市ヶ谷
11	27	日	第15回日本 - サウジ合同セミナー	サウジ アブダビ市
28	月			
12	1	木	2005石油製品討論会	東京 青少年総合センター
	2	金		
12	2	金	触媒シンポジウム	東京 工学院大学
12	8	木	第36回装置研究討論会	東京 青少年総合センター
	9	金		
平成18年				
1	16	月	第4回中東精製・石油化学講演会および展示会	バーレーン・マナハ
	17	火		
	18	水		
2	9	木	第6回電気研究討論会	東京 青少年総合センター
2	17	金	第31回精製パネル討論会	東京 青少年総合センター
3	2	木	第23回計装研究討論会	東京

3. 研究助成

昨年度に続き、若手研究者および部会への助成公募を行い、適格者を選考し、研究助成金を交付する。

4. 会務部門

(1) 支部活動

北海道支部

- 1) 平成17年10月以降に第6回北海道支部講演会を開催(北見)の予定。
- 2) 平成17年7月23日(土)、24日(日)に日本化学会北海道支部と共催で、夏季研究発表会を開催(函館)の予定。
- 3) 平成18年2月に日本エネルギー学会と共催で、第6回北海道支部研究発表会・第6回北海道エネルギー資源環境研究発表会を開催(札幌)の予定。

東北支部

平成17年10月27日(木)~29日(土)開催の盛岡大会(第35回石油・石油化学討論会)において、実行委員会を組織し、支援する。

東海支部

東海地区の石油精製会社4社が大学生7名を対象に行うインターンシップ事業を助成する。

関西支部

- 1) 平成17年上期に研究機関または企業見学会を開催の予定。
- 2) 平成17年上期に第13回学生企業見学会を開催の予定。
- 3) 平成17年秋に第12回関西支部セミナーを開催の予定。
- 4) 平成17年下期に日本エネルギー学会と共催で第14回研究発表会を開催の予定。

中国・四国支部

- 1) 平成17年11月に第25回中国・四国支部講演会を開催の予定。
- 2) 平成17年12月に第10回技術交流会を開催の予定。

九州・沖縄支部

- 1) 平成17年夏に学生のための論文投稿講習会を化学工学会九州支部学生の会と共催の予定。
- 2) 平成17年上期に南九州化学工学懇話会と共催で講演会を開催(宮崎)の予定。
- 3) 平成17年12月に石油取扱い時に発生する揮発成分の処理技術講演会を開催(鹿児島)の予定。
- 4) 平成17年下期に第5回九州・沖縄支部講演会・見学会を開催(大分)の予定。

(2) 広報活動

- 1) HPの内容の一層の充実、維持管理に努める。
- 2) 石油学会から発進する情報、提言を検討する。
- 3) 昨年同様、学会活動を適宜新聞各社に紹介する。

(3) ジュニア・ソサイアティ(JPIJS)の活動

- 1) 平成17年5月17日(火)第10回JPIJS若手研究者のためのポスターセッションならびに平成17年度第1回幹事会を開催する。
- 2) 平成17年7月に触媒学会と共催で第45回オーロラセミナー、第2回規則性多孔体研究会合同セミナーを開催(北海道・東北地区)の予定。

- 3) 平成17年夏に日本エネルギー学会関西支部若手グループとの共催で宿泊セミナーを開催(関西地区)の予定。
- 4) 平成17年秋に関東地区講演会を開催予定。
- 5) 平成17年10月に九州地区幹事会ならびに講演会を開催予定。
- 6) 平成17年11月に関東地区見学会を開催予定。
- 7) 平成17年12月または平成18年1月に平成17年度第2回幹事会を開催予定。
- 8) 平成18年3月に北海道・東北地区講演会を開催予定。
- 9) 平成18年3月に九州地区見学会またはセミナーを開催予定。
- 10) JPIJS幹事を中心に、時限を区切った研究会(勉強会)の立ち上げを準備する。
- 11) ペトロテックの「JPIJSだより」およびHPにて、各地区の行事の案内、結果報告などの広報活動を行う。

5. 学術刊行部門

- (1) ペトロテック(一般誌、月刊)ならびにJournal of the Japan Petroleum Institute(論文誌、隔月刊)を発行する。また論文誌のオンラインジャーナルを冊子体刊行から2ヵ月後に発行する。
- (2) 単行本「石油辞典」[編集委員会委員長:辰巳敬 東京工業大学教授](丸善(株)出版)を刊行する。

6. 研究・技術交流部門

- (1) 表彰
 - 1) 石油学会表彰規程により表彰を行う。
 - 2) 野口記念賞表彰規程により表彰を行う。
- (2) 教育委員会
移動大学「石油関連セミナー」を前年に引き続き開催する。
- (3) 受託業務
 - 1) (株)石油産業技術研究所から「国内市場車の運転性能調査」「ディーゼル車の燃料供給システム調査」「サルファーフリー軽油信頼性評価試験調査」について受託し、調査・研究を実施する。
 - 2) (財)国際石油交流センターから「産油国研究者との現地交流(第15回日本-サウジ合同セミナー、第4回中東精製・石油化学講演および展示会)」および「産油国研究者の受入」について受託し、調査・研究を実施する。
 - 3) (財)石油産業活性化センターから「石油を原燃料とした水素製造、燃料電池技術に関する調査研究」について受託し、調査・研究を実施する。
 - 4) 外部団体からの調査・研究の受託については積極的に取り組む。
- (4) 外部団体に対する協力
他学協会、その他関連団体からの事業の共催、協賛などの要請には、理事会の審議を経て協力する。

7. 部会部門

- (1) 資源部会
 - 1) 平成17年7月15日(金)に「資源講演会」を企画し、実施する。
 - 2) 平成17年10月27日(木)、28日(金)に開催の「第35回石油・石油化学討論会」においてセッションを企画し、協力する。

(2) 精製部会

- 1) 平成17年10月14日(金)に「精製講演会」を企画し、実施する。
- 2) 平成18年2月17日(金)に「第31回精製パネル討論会」を企画し、実施する。

(3) 石油化学部会

- 1) 平成17年7月12日(火)に石油化学講演会「これからの石油・石油化学産業をユーザー企業とともに考える」を企画し、実施する。
- 2) 平成17年10月27日(木)、28日(金)に開催の「第35回石油・石油化学討論会」においてセッションを企画し、協力する。
- 3) 平成17年12月2日(金)に「触媒シンポジウム」を企画し、実施する。
- 4) 「ケミカルプロダクツシンポジウム」および勉強会を企画し、実施する。
- 5) 「バイオテクノロジーシンポジウム」および勉強会を企画し、実施する。
- 6) 「グリーンプロセスシンポジウム」および勉強会を企画し、実施する。

(4) 製品部会

- 1) 平成17年12月1日(木)、2日(金)に「2005石油製品討論会」を企画し、実施する。
- 2) ガソリン分科会
 - a) (株)石油産業技術研究所から「国内市場車の運転性調査」について受託し、調査・研究を実施する。
 - b) JPI-5R-5-93 [リサーチ法及びモータ法オクタン価測定マニュアル]の規格改訂審議を行う。
- 3) 燃料油分科会
 - a) (株)石油産業技術研究所の依頼から「ディーゼル車の燃料供給システムに関する調査」「サルファーフリー軽油の信頼性評価試験」について受託し、調査・研究を実施する。
 - b) 第15回CFRセタン価照合試験を実施する。
 - c) JIS規格CFRセタン価試験方法の改訂作業に協力する。
- 4) 潤滑油分科会
 - a) エンジン汚れ評価法のJPI規格普及のため、レイティングシンポジウムを開催する。
 - b) 自動車用ギヤ歯面損傷に関するギヤ歯面評価法の検討を行う。
 - c) 昨年に引き続き、JPI-5S-29-88 [潤滑油せん断安定度試験方法]の見直しを実施する。
- 5) アスファルト分科会
昨年に引き続き、SHRP(新道路研究計画)バインダー試験方法について検討を行う。
- 6) 絶縁油分科会
 - a) 平成17年6月3日(金)に「第25回絶縁油研究発表会」を企画し、実施する。
 - b) 絶縁油の水素ガス吸収性について調査・検討を行う。
 - c) 絶縁油と絶縁物の水分平衡関係について調査・検討を行う。
- 7) 試験分析分科会
 - a) 昨年に引き続き、JPI-5S-23-84 [エンジン油の軽油希釈率試験方法]の見直し作業を行う。
 - b) 昨年に引き続き、JPI-5S-24-84 [エンジン油のガソリン希釈率試験方法]の見直し作業を行う。
 - c) 昨年に引き続き、JPI-5S-49-97 [石油製品 - 炭化水素タイプ試験方法 - 高速液体クロマトグラフ法]の見直しを実施する。
 - d) 昨年に引き続きJPI-5S-63-02 [石油製品 - 硫黄分試験方法]の見直しを実施する。
 - e) 昨年に引き続き、CHNO分析計によるガソリン中の酸素分試験方法について検討を行う。
 - f) JPI-5S-66-05 [原油及び石油製品 - 残留炭素分試験方法 - ミクロ法]を制定する。

(5) 装置部会

(5-1) 装置委員会

- 1) 平成 17 年 12 月 8 日(木)、9 日(金)に「第 36 回装置研究討論会」を企画し、実施する。
 - 2) 機器分科会
機器分科会関係規格の見直しおよび回転機専門委員会の活動を昨年に引き続き実施する。
 - 3) 配管分科会
フランジ専門委員会、バルブ専門委員会、ガスケット専門委員会、管及び管継手専門委員会、配管基準専門委員会の活動を昨年に引き続き実施する。
 - 4) 設備保全分科会
 - a) 設備技術専門委員会の活動を昨年に引き続き実施する。
 - b) 平成 17 年 9 月 16 日(金)に「第 18 回設備保全分科会シンポジウム」を企画し、実施する。
 - 5) 計装分科会
 - a) 平成 18 年 3 月 2 日(木)に「第 23 回計装研究討論会」を企画し、実施する。
 - b) 計装技術専門委員会の活動を昨年に引き続き実施する。
 - 6) 電気分科会
 - a) 平成 18 年 2 月 9 日(木)に「第 6 回電気研究討論会」を企画し、実施する。
 - b) 電気専門委員会の活動を昨年に引き続き実施する。
 - 7) 保安分科会
保安分科会の活動を昨年に引き続き実施する。
- (5-2) 設備維持規格委員会
石油精製業の事業所における設備の性能を維持し、事故の防止と保安の確保を図るため、事業所内における設備の維持規格の制定および改訂作業を実施する。
- (6) 経営情報部会
 - 1) 次のWGを設置し、調査・検討を行い、年度末にWG活動成果報告会を実施する。また適宜、部会招待講演を企画し、実施する。
 - a) 「RtPM (real-time performance monitor)」
 - b) 「レガシーシステム再構築における問題とその対応」
 - 2) 平成17年度部会活動への調査・研究助成金を受け、平成17年11月15日(火)に「経営情報部会講演会」を企画し、実施する。
- (7) 新エネルギー部会
 - 1) 平成 17 年 5 月 27 日(金)に「新エネルギー部会講演会」を企画し、実施する。
 - 2) (財)石油産業活性化センターから「石油を原燃料とした水素製造、燃料電池技術に関する調査研究」について受託し、調査・研究を実施する。
8. 認証部門
- (1) 溶接士の認定事業
前年度に引き続き、認定事業を行う。
 - (2) 標準物質の認証事業
 - 1) 前年度に引き続き、重油硫黄分、重油窒素分、ニッケル・バナジウム分、FIA用、軽油硫黄分、標準ガソリンおよび軽油流動点の認証事業を行う。
 - 2) 軽油低硫黄分標準物質の認証を検討する。
 - 3) JIS K 2265引火点試験用標準物質の認証を行う。
 - (3) 設備維持管理士の認定事業
前年度に引き続き、認定事業を行う。